

～全ての分類で全国平均上回る～ 学力の確実な定着

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果

1 調査実施校数及び児童生徒数

■福岡市においては、悉皆調査

○ 福岡市全体

- ・小学校 145校 第6学年児童 約12,000人
 - ・中学校 69校 第3学年生徒 約11,000人
 - ・特別支援学校で通常カリキュラムを履修している児童生徒については、状況に応じて個別に実施
- 総計 約23,000人

2 教科に関する調査の結果

○ これまで、全国平均を下回っていた小学校国語B及び算数Aでも、全国平均を上回った。その結果、調査実施以来初めて、小中学校全分類で全国平均を上回った。

(1) 悉皆調査結果の概況

小学校調査		国語A	国語B	算数A	算数B	理 科
福岡市(悉皆)	平均正答率	82.3	56.2	74.3	60.3	62.5
福岡県(悉皆)	平均正答率	80.9	53.8	72.9	57.9	60.7
全 国(抽出 (公立))	平均正答率の95%信頼区間	81.4-81.7	55.4-55.8	73.1-73.5	58.7-59.1	60.8-61.1
	平均正答率の推計値	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9
福岡県との比較		+1.4	+2.4	+1.4	+2.4	+1.8
全国との比較		+0.7	+0.6	+1.0	+1.4	+1.6

中学校調査		国語A	国語B	数学A	数学B	理 科
福岡市(悉皆)	平均正答率	75.9	65.5	62.4	50.2	52.0
福岡県(悉皆)	平均正答率	74.5	63.7	60.1	47.1	50.2
全 国(抽出)	平均正答率の95%信頼区間	75.0-75.2	63.2-63.4	62.0-62.3	49.2-49.5	50.9-51.1
	平均正答率の推計値	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
福岡県との比較		+1.4	+1.8	+2.3	+3.1	+1.8
全国との比較		+0.8	+2.2	+0.3	+0.9	+1.0

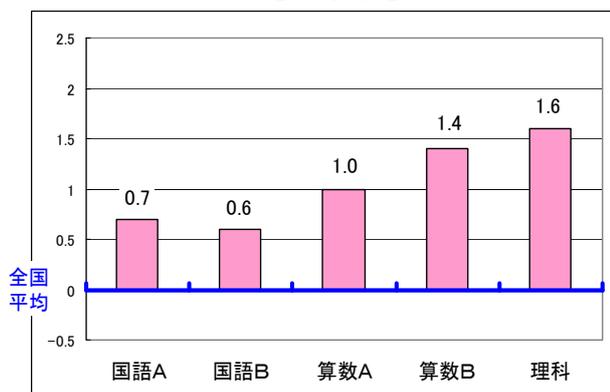
※平均正答率…平均正答数を百分率で表示したもの

※平均正答率の95%信頼区間…95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲

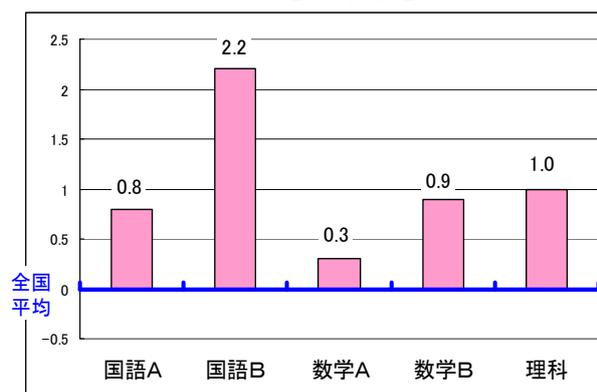
※平均正答率の推計値…上述の信頼区間の中央値

(2) 全国と福岡市の平均正答率の比較

【小学校】



【中学校】



※全国の平均正答率を0として福岡市の平均正答率と比較

3 平成21年度小学校6年生の3年後（現中学校3年生）の推移

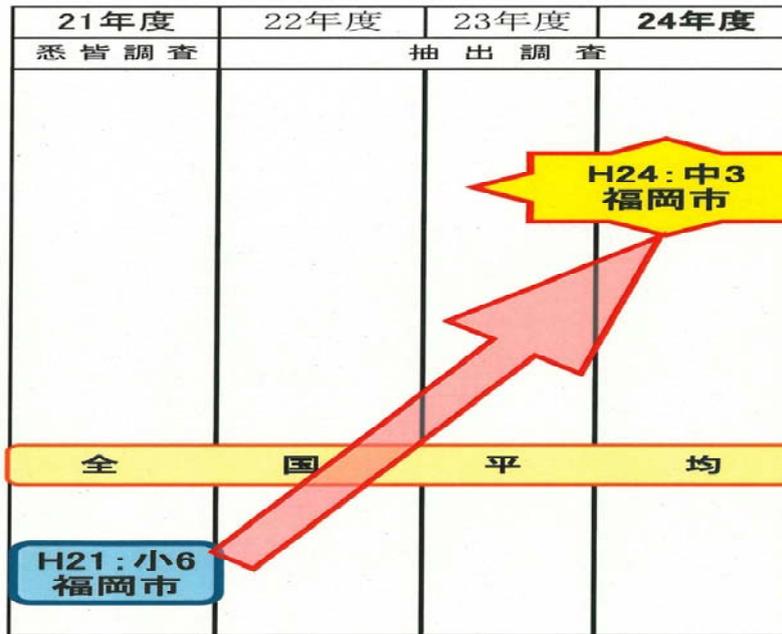
3年間で大きくジャンプ！

～ 平成21年度当時の小学校6年生は、全国平均を下回っていたが、
3年後、中学3年生になり、全国平均を上回った ～

(1) 全国の平均正答率との差の変化

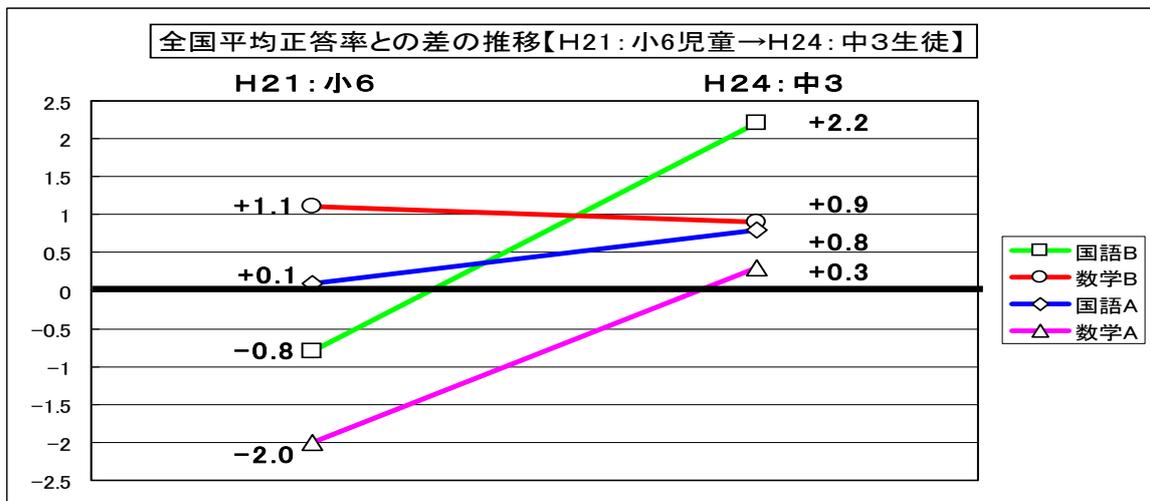
- 平成21年度当時の小学校6年生は全国平均をやや下回っていたが、3年後、中学3年生になり、全国平均をかなり上回った（福岡市教育委員会が作成した参考資料より）

福岡市教育委員会が作成した参考資料



*表は、文部科学省が公表した都道府県の小中学校の各分類毎の平均正答率を合計して分類数で割り、福岡市の位置を示したものである。なお、平成24年度については、文部科学省が公表した各都道府県の抽出校の平均正答率（悉皆調査を行った場合の平均正答率が95%の確率で含まれる範囲の中央値）をもとに、同様の計算をし、福岡市の平均は、福岡県での悉皆方式による本市の調査結果から算出した平均正答率をもとにして示している。

(2) 各分類毎の全国平均正答率との差



- 平成21年度と平成24年度の全国平均との差を比較すると、国語と数学の4分類中3分類で向上している。
- 特に平成21年度小学校6年生の国語B(活用)、算数A(知識)問題については、全国平均を下回っていたが、平成24年度中学校3年生の国語B(活用)、数学A(知識)問題ともに全国平均を上回った。

(3) 各教科・分類の状況（本年度の正答率に見られる顕著な状況）

校種	教科区分	正答率が高い問題	正答率	正答率が低い問題	正答率
小 学 校	国語A	・漢字の読み	94.5	・事柄を整理し一文に書く	38.9
		・中心内容の書き出し	93.3	・ねらいを明確にした質問	69.1
	国語B	・特徴説明の適切な選択	88.6	・手紙の構成の選択	22.3
		・質問内容の整理	85.5	・事実を基にした考えの記述	37.4
	算数A	・整数の計算	95.5	・二つの数量関係の理解	32.5
		・小数の乗法計算	91.6	・割合で基にする量を計算	41.6
算数B	・おつりの金額(贖)選択	92.8	・割合の大小を判断し記述	20.8	
	・図から求める式を選択	88.3	・情報を活用し理由を記述	31.0	
理 科	・変形後の質量保存の選択	89.8	・気と温度のデータ分析→理由記述	21.4	
	・植物成長の規則性を選択	89.5	・方位磁針の操作と方位記入	27.8	
中 学 校	国語A	・手紙の形式を理解し選択	94.7	・比喩(表規の描の名称)を書く	40.4
		・文章の特徴を捉え選択	92.2	・目的に応じた情報選択	43.2
	国語B	・文脈中の語句の理解	85.6	・具体例を挙げて考えを記述	27.4
		・適切な表現の仕方を選択	83.5	・物語の場面の展開を捉える	31.3
	数学A	・三角柱の展開図	93.2	・2aで表せる数の選択	37.0
		・正の数, 負の数の計算	86.8	・角の二等分線の作図理解	54.6
数学B	・線対称図形の対応する点	89.6	・図形の特徴を数学的に表現	18.4	
	・正十二角形の外角を計算	77.9	・問題解決の方法を証明	18.9	
理 科	・地層観察の観点選択	89.0	・正しい実験方法説明	8.7	
	・LED電球の省エネ効果	86.5	・消費電力量の理解	8.8	

*上記の問題については、正答率上位、下位それぞれ2つである。

問い合わせ先
 教育委員会指導部
 学校指導課長 穴井 福代

TEL 092-711-4638
 FAX 092-733-5780
 (内線 3710)